

写真投稿のお願い

2面の「ナイスショット」のコーナーへの写真を募集します。おもしろい・奇跡の1枚と共に、写真の説明文章を添えて、ご投稿をお願いします。提供された方には、粗品を進呈します。

建 労 い わ て 月 刊 号

発行所
岩手県建設労働組合連合会
教 宣 部
盛岡市本宮一丁目7番27号
電話 019-631-3280
FAX 019-635-4015
発行者 藤井泰男

奨励賞を受賞

全建総連第30回 全国青年技能競技大会

9月20日から3日間にわたり、東京都「大田区産業プラザPiO」で、全建総連第30回全国青年技能競技大会が行われました。

岩手県代表として、藤井敏和さん（花巻）が参加し、奨励賞を受賞されました。

大会を終えて藤井さんにお聞きしました。

◎競技大会が始まるまで

初めての技能競技大会ということで、緊張していましたが、いざ会場に入り競技が始まると緊張は自然となくなりました。

◎競技中について

全国の県連・組合の参加者と一緒に、競技を行えたことの喜びで、楽しく作品を仕上げることができました。

◎競技を終えて

焦ることもなく、競技時間内に作品を完成させることが出来て良かったです。機会があれば来年も参加したいです。



ボールをよく見てめざせホームラン

熱戦繰り広げられ 青年部交流会 ソフトボール大会

9月28日、石鳥谷ふれあい運動公園において、岩手県連青年部交流会として、ソフトボール大会が行われ

ました。大会には9チームが参加。3チームが同一グループ内で戦うリーグ方式で、3グ

ループに分かれて最下位チームが、決勝トーナメントに進むという試合方法です。出場チームは、遠野組合

チーム、花巻組合Aチーム、沿岸チーム（釜石・宮古組合の混合）、混合チーム（北上・西和賀・金ヶ崎・平泉）、西山工務店チーム（以後、花巻組合Bチームとする）、盛岡組合チーム

一関組合チーム、八幡平組合チーム、江刺組合チーム、遠野組合チームは青のユニホームを着ていて、両チームの試合は、広島カープと中日ドラゴンズ（横浜DeNAベイスターズ）を想像する様

当日は天候にも恵まれたので、気温がさらに上がるような熱戦が繰り広げられていました。暑さの中、子供たちをはじめ、参加したみなさん笑顔でプレーと応援をしていました。

各グループリーグの試合も終わり、いざ決勝戦。決勝は一関組合チームと花巻組合Bチームの戦いとなりました。

試合が始まると、周りにはプレーを終えた他のチームのみなさんが観戦に来て

ました。その後、ホームラン賞の発表が行われ、7本のホームランが出たことが発表されました。その中には1人で2本打った方もいました。

震災後、初めて行われたソフトボール大会には、選手、応援者145人の方が参加しました。参加者からは「久しぶりでとても楽しかったです。毎年開催してほしい」と感想がありました。

それぞれ行われ、どのチームも試合と応援にとっても気合が入っていました。

出場チームの中には、全員が同じユニホームを着ているところも数チームありました。その中でも、八幡平組合チームは赤、江刺組合チームは青のユニホームを着ていて、両チームの試合は、広島カープと中日ドラゴンズ（横浜DeNAベイスターズ）を想像する様

当日は天候にも恵まれたので、気温がさらに上がるような熱戦が繰り広げられていました。暑さの中、子供たちをはじめ、参加したみなさん笑顔でプレーと応援をしていました。

試合終了後は閉会式が行われ、優勝した花巻組合Bチーム、準優勝の一関組合チーム、第3位の遠野組合チーム、沿岸チームの表彰が行われました。

開会式で選手宣誓、ラジオ体操が行われた後、9時に試合を開始しました。

その後、ホームラン賞の発表が行われ、7本のホームランが出たことが発表されました。その中には1人で2本打った方もいました。

震災後、初めて行われたソフトボール大会には、選手、応援者145人の方が参加しました。参加者からは「久しぶりでとても楽しかったです。毎年開催してほしい」と感想がありました。

最後に宿泊施設確保の問題で意見があり、県の担当者より「無料提供で進めている。10月中にめどがつく」と回答があった。

開会式で選手宣誓、ラジオ体操が行われた後、9時に試合を開始しました。

その後、ホームラン賞の発表が行われ、7本のホームランが出たことが発表されました。その中には1人で2本打った方もいました。

震災後、初めて行われたソフトボール大会には、選手、応援者145人の方が参加しました。参加者からは「久しぶりでとても楽しかったです。毎年開催してほしい」と感想がありました。

最後に宿泊施設確保の問題で意見があり、県の担当者より「無料提供で進めている。10月中にめどがつく」と回答があった。



見事優勝した花巻組合Bチーム
(西山工務店チーム)

【県連 鈴木記】

【県連会長 齋藤徳重】

きずな

9月30日、突然意見交換をしたことと、私と鈴木勇平副会長と出席した。相手は、国土交通省住宅整備課長で「復興加速化会議」という内容で話し合った。

災害公営住宅工事実施プログラムと、民間住宅などの用地供給時期の説明があり、各団体出席者より意見が述べられた。

県地域復興住宅推進会からは「職人や建築資材不足をサポートする活動をしている。依頼者があり少ないながらも対応している」と話があった。

中小工務店協会からは、「長い不況で今となれば職人を育成することは難しい。建材屋さんが職人を手配してくれる」と現状を述べた。

鈴木副会長からは、宮古市内31社を対象としたアンケート結果の説明があり、「造成工事が遅れている為、注文を受けても予定がたない。基礎工事の施工業者の確保が難しい」など人材不足が大きな課題であることを報告した。

最後に宿泊施設確保の問題で意見があり、県の担当者より「無料提供で進めている。10月中にめどがつく」と回答があった。

意見交換行い「職人供給は組合から」お願いする方向に感じました。